

大 学 史 研 究 通 信

第 58 号、2009 年 4 月 30 日 (木)

大学史研究会

第 58 号の内容：会員ニュース・新入会員自己紹介・2009 年度年会費納入のお願い・
紀要原稿受付先住所の変更・会員新刊ニュース・編集後記・大学史研究会事務局員一覧

会員ニュース

新入会員

三和 義武 (みわ よしたけ) 会員

所属： 名古屋大学大学院教育発達科学研究科教育科学専攻博士後期課程

研究テーマ： 高等教育史，高等教育政策，教育行政日本近現代史

佃 隆一郎 (つくだ りゅういちろう) 会員

所属： 愛知大学大学史事務室

研究テーマ： 愛知大学史に関する資料の収集・整理，愛知大学での「大学史」講義（リ
レー形式）のコーディネート，愛知大学史に関する刊行物の編集

戸村 理 (とむら おさむ) 会員

所属： 東京大学大学院教育学研究科大学経営・政策コース

研究テーマ： 戦前期日本の私立大学経営

異動のあった会員

岡田 大士 会員 (所属変更)

新所属： 中央大学法学部

深野 政之 会員 (所属変更)

新所属： 京都FD開発推進センター

太田 拓紀 会員 (所属変更)

新所属： 玉川大学教育学部

新入会員自己紹介

三和 義武 会員

このたび大学史研究会に入会をお認めいただきました名古屋大学大学院教育発達科
学研究科博士後期課程の三和義武と申します。どうぞ、宜しく願い申し上げます。

私の研究テーマは、高等教育政策・行政であり、とくに、現在は第二次世界大戦前・戦後の高等教育機関の設置認可過程・展開、および1991年施行の大学設置基準の大綱化に焦点をあてて研究しています。また高等教育の歴史にも関心があり、中世ヨーロッパの大学の起源から米国・日本の大学の生成・発展を学ぶことにより、より深化させた高等教育のあり方を探りたいと考えています。

今後とも、ご指導くださいますよう宜しくお願い申し上げます。

佃 隆一郎 会員

初めまして。この度新たに大学史研究会の末席に列することになりました、佃隆一郎と申します。

現在愛知大学にて、大学史事務室の職員として資史料の収集と整理に携わる一方で、3年前より新設されたリレー講義「大学史」の実質コーディネーターも務めています。私の本来の専攻は日本近現代史でも、戦争や軍事に関する方面でしたが、現在豊橋市と名古屋（市内および近郊）にある愛知大学が、最初は豊橋の陸軍施設の跡地に、敗戦によって中国ほかから引き揚げてきた東亜同文書院大学ほかの関係者によって創設されたという経緯から、十数年前に『愛知大学五十年史』の編纂が行なわれていた頃、“一応愛知大学史に関連している者”として、豊橋の陸軍部隊のことを調べていた私も五十年史編纂室に引っ張りこまれ、同室が大学史事務室に改編された今に至っている次第です。

まだまだ所属大学も私自身も、大学史という分野への取り組みは試行錯誤といったところですが、よろしく願い申し上げます。

戸村 理 会員

この度、新しく大学史研究会に入会させていただきました戸村理（とむらおさむ）と申します。東京大学大学院教育学研究科大学経営・政策コースの博士課程に在籍する大学院生です。

現在は「大学経営とは何か」を念頭に、大正期大学令の施行時期に焦点を定め、私立大学の経営に関する研究を行っています。修士論文では部分的ではあるものの、私立大学の供託金問題について検討しました。今後の具体的な研究のデザイン・方向性についてはまだ漠然としており、日々思案に暮れております。

会員の皆様には今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

2009年度年会費納入のお願い

今年度の年会費納入についてお願いのご連絡を申し上げます。

大学史研究会の実収入は会員各位からの年会費に大きくよっております。

昨年度、全会員数に対する年会費納入率は65.3%であり、未納も少なくありません。

そのために、毎年2月に未納会員宛に納入依頼通知を再送することになりましたが、これを開始して4年目にあたる現在におきましては、残念ながらその効果がさほど上がっていない状況にあります。

前回の通信に掲載しました会計報告のとおり、本研究会の財政状態は決して芳しいとはいえません。

研究会の発展と円滑な運営のために、会員各位のご理解ご協力をお願い申し上げる次第です。

年会費の納入の詳細につきましては、同封の納入依頼通知をご覧ください。

年会費は 5,000 円です。大学院等在学あるいは日本学術振興会特別研究員の各位には、「院生・学生会費」として 3,000 円が適用されます。

また、過年度分年会費未納の会員には、未納年度と本年度会費分を含めた金額総計を通知いたしております。

なお、年会費 3 ヶ年度分以上を滞納されている会員には、研究会継続参加のご意志を、年会費納入によって確認できるまで、大学史研究会からの諸連絡、「研究通信」、紀要「大学史研究」等の発送を停止することが決定しております。該当する会員へのご連絡通知には、これに関する事項が記載されておりますので、ご留意願います。

なお、本通知依頼発送と入れ違いに年会費を納入いただきました場合には、何卒ご容赦のほどお願い申し上げます。

年会費納入払込先

郵便振替口座 大学史研究会 口座番号 00120-3-47583

または

銀行口座 大学史研究会 三井住友銀行 池袋東口支店 (店番 671)
普通預金 (口座番号 3456109)

(事務局会計担当 沖塩有希子・浅沼薫奈)

紀要原稿受付先住所の変更

岡田大士事務局員の転勤に伴い、紀要原稿の受付先住所を下記のように変更いたしましたので、お知らせします。

〒192-0393 東京都八王子市東中野 7 4 2 - 1
中央大学 2 号館 7 階受付 岡田大士

会員新刊ニュース

- 1) 大学史研究会 編 (2009) 『大学理念の歴史的展開』 東信堂
- 2) 潮木守一 著 (2008) 『いくさの響きを聞きながら：横須賀そしてベルリン』 東信堂
- 3) 荒井克弘・倉元直樹 編著 (2008) 『全国学力調査日米比較研究』 金子書房
- 4) 山内乾史 編著 (2008) 『教育から職業へのトランジション：若者の就労と進路職業選択の教育社会学』 東信堂

「会員新刊ニュース」情報提供のお願い

本通信では、会員の研究活動の紹介を心がけておりますが、編集者の情報のみでは限界があります。新刊を発行されたご本人、あるいは会員が新刊を発行されたという情報を得られた方は、事務局（代表Eメールアドレス：jshshe@wwwsoc.nii.ac.jp）もしくは本紙編集担当の田中までご一報頂ければ幸いです。

退会者の報告

以下の会員の方が退会されました。長い間本会の活動にご協力賜りまして、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

退会者： 斉藤泰雄 会員、渡辺和行 会員

原稿募集

『大学史研究通信』第59号は2009年8月31日に発行予定です。会員諸氏の現在の研究紹介、文献案内、会員主催行事のお知らせなど、どのようなものでも結構です。皆様からの投稿を心よりお待ちしております。原稿提出・お問い合わせ等は、事務局（代表Eメールアドレス：jshshe@wwwsoc.nii.ac.jp）、もしくは本紙編集担当の田中までお願いいたします。

住所・所属変更届のお願い

住所や所属（昇任・学位取得も含む）に変更のある会員は事務局までご一報くださるようお願いいたします。また、教授・研究のために海外にご滞在予定の方も、海外でのご連絡先をお教えいただけましたら幸いです。ご連絡は事務局代表Eメールアドレス（jshshe@wwwsoc.nii.ac.jp）までお願いいたします。なお、変更届にあたっては、年会費払込票（郵便口座）の「通信欄」を利用することも可能です。

『大学史研究通信』バックナンバー希望者に頒布いたします

『大学史研究通信』第14号～現在発行号までを希望者に頒布いたします。事務局代表Eメールアドレス(jshshe@wwwsoc.nii.ac.jp)までご連絡ください。折り返し、請求方法をご連絡いたします。

編集後記

花粉症の季節がもうすぐ終わろうとしていますが、私は未だにマスクを手放せません。ご苦労なことに檜が杉よりも遅れて花粉を飛ばすからなのですが、どちらにも反応する私の鼻は真っ赤です。花粉をたんまり付けて赤く染まった杉や檜を仰ぎ見ると、益々、鼻の赤みもますので、お願いだから切ってくれないかと願う毎日でしたが、先日、戦後まもなく植林活動に駆り出されたという老人の話聞いて、見方が少し変わりました。

戦前戦中に乱伐された山林(禿げ山)は、島根県のような田舎でも珍しくなく、その結果、土砂の流出などで水資源が汚染され水田に被害が及ぶことも多かったそうです。戦後、山林の再生が国策で進められたものの、当時の植林技術では、広葉樹や落葉樹を大量に育成するのは困難で、杉のような針葉樹ぐらいしか選択肢がなかったそうです。必ずしも、建材として利用するという理由だけで杉が選ばれたわけではないとのことでした。

その老人は植林に駆り出されたときは小学生で、過酷な労働を強いられたそうです。辛い思い出ではあるものの、同時に、この山の杉が村を守ってきたという自負もあるとのこと。私は人工的に等間隔で並んだ杉を見ると直ぐに悪者扱いしていましたが、その杉にも人の思いが込められているのだということに気がつきました。

当事者の話を聞く、これは、物事の善し悪しを考える際には、必要なことだと改めて思った瞬間でした。研究にも通じる点があるかもしれません。

(田中 正弘 記)

『大学史研究通信』第58号の編集は事務局・田中正弘が担当いたしました。

連絡先 〒690-8504 松江市西川津町1060
島根大学 教育開発センター
TEL: 0852-32-9848 FAX: 0852-32-6059
E-mail: masatana@soc.shimane-u.ac.jp

『大学史研究通信』第59号は、2009年8月31日発行予定です。

大学史研究会事務局

〒635 - 8530 奈良県大和高田市東中 127
奈良文化女子短期大学 吉村日出東研究室内 大学史研究会
TEL: 0745 - 52 - 1279 E-mail: yosimura@narabunka.ac.jp
URL: <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jshshe/>

事務局へのお問い合わせは、なるべく下記代表Eメールアドレスまでお願いいたします。
E-mail: jshshe@wwwsoc.nii.ac.jp

大学史研究会事務局員（五十音順）

浅沼 薫奈	(大東文化大学)	井上 美香子	(九州大学大学院)
岡田 大士	(中央大学)	冲塩 有希子	(青山学院大学非常勤)
田中 正弘	(島根大学)	福留 東土	(広島大学)
吉村 日出東	(奈良文化女子短期大学)		